

# 家庭教育支援者地区別研修会

怒っても、言うことを聞いてくれない...

令和6年11月28日(木)中町ビルにおいて、県北域内の家庭教育支援者参加のもと標記の研修会を実施しました。今回は子どもの成長過程に応じた言葉がけや接し方を学び、地域の家庭教育支援者の実践力の向上や新たな支援者の育成を図り、地域の家庭教育力の向上を目指すため実施しました。



## 「子どもに伝わる魔法の「ほめ方」「叱り方」」

### POINT 1 効果的な聞き方

「は」「ふ」「へ」「ほ」「そ」

を使って、相槌を打ちながら親は聞き手に徹しましょう！

親がアドバイスを与えるのではなく、子どもが自分で答えを見つけるのを待つことが重要です。

島谷 留美 氏  
親子カウンセラー・言葉がけコーチ  
ママの学校主催

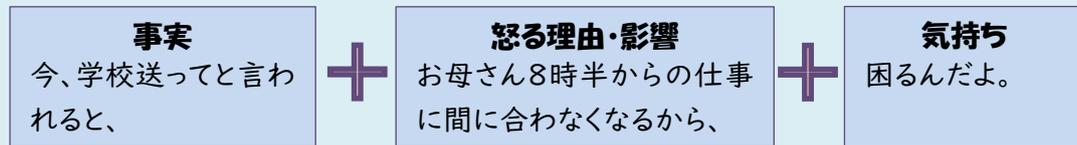


### POINT 2 最強の「叱り方」

※「レットテル用語」・・・勝手に判断してつかっている言葉  
(いつも、だらしがない、そんなのだから〇〇なのよ)

「事実」「わたしが怒る理由・影響」「自身の気持ち」の3つセットで伝える！

例：朝7時半に子どもが「やばい遅刻だ。お母さん車で送って」と言ってきた。



※

事実ではないことをベースとした「レットテル用語」や、「(あなた)勉強しなさい」「(あなた)片付けて」といった「あなたメッセージ」での指示・命令をしても、子どもはやる気を失ってしまいます。子どもの言動によって、私がどんな影響を受けてどんな気持ちになったか、「わたしメッセージ」で伝えることが大切です。

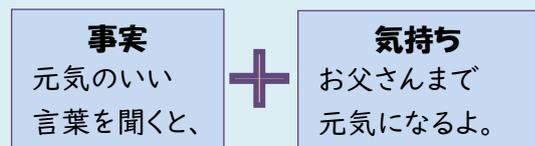
✗  
いつまでもYouTube見てたから寝坊したんでしょ！



### POINT 3 最強の「ほめ方」

「事実」「自身の気持ち」の2つセットで伝える！

例：「おはよう」と元気よく起きてきた。



【参加者の声】

- 「レットテル用語」や「あなたメッセージ」を使っていて反省した。今日からさっそく実践したい。
- ワークを通して、他の人も自分と同じ状況であったり、同じ感情をもっているということ共有できてよかった。

「すごいね」「えらいね」は禁句です！

子どもは、自らの問題を自分で解決することで成長していきます。大人は、子どもが解決策をもっていると信じて寄り添う姿勢が大切なのだと感じました。

県北教育事務所では、これからも家庭教育支援者の皆様と一緒に、子育てに不安や悩みを抱える保護者を支えていきたいと思っております。

家庭教育に関するお問い合わせは  
県北教育事務所 総務社会教育課 伊藤まで  
電話 024-521-2814  
E-mail itou\_emi\_02@pref.fukushima.lg.jp